



唐子小だより



東松山市立唐子小学校
学 校 だ よ り
1 1 月 号
令和7年10月31日
唐子小学校長 梶野義明

学校教育目標 なかよく・かしこく・元気よく
～笑顔・夢・感動いっぱい唐子小～

〒355-0071 埼玉県東松山市新郷642 TEL 0493-22-0675 FAX 0493-22-1419

深まる秋

10月12日には運動会という大きな行事を実施することができました。一日延期したにもかかわらず、たくさんの方にご来校いただき、ありがとうございます。子供たちの頑張る姿に温かい声援や拍手をいただき、子供たちはとてもうれしそうでした。私たち職員も大変ありがたく思っております。

10月も下旬になると、季節が急速に進みました。日々の気温差が大きい体調を崩しやすいものの、スポーツ、食、芸術その他、何をするにも快適な時期です。明日には全校徒歩遠足を予定しています。年々短くなりつつあるこの素晴らしい季節を満喫してきます。

子供の頃の体験 ～ハロウィーンから思う～

ハロウィーン。私が子供の頃は自分の身近には存在していませんでした。

初めてそれを目の当たりにしたのは30年ほど前のことです。レストランに入ると、フロアスタッフが全員仮装をしていました。また、遊園地に行くと、ほとんどのお客さんが仮装をしていました。しかしながら当時の私はまだハロウィーンなるものを全く知らず、ただただ理解不能で違和感を覚えるばかりでした。いつのころからか、シーズンになると街やお店などはハロウィーンの飾り付けが当たり前になり、学校の教室にもそれが浸透しています。それでも、私にはいまだになじみません。一方、ケーキやプレゼントなど買ってもらった覚えがほとんどなくとも、クリスマスには全く抵抗がありません。子供の頃から街がクリスマスツリーなどで華やかに装飾されている様子を見ていたからだと思います。

一般に、子供の頃の体験が多いと、非認知能力の延伸等、その後に良い影響があると言われております。特に、自然体験が多い子供は、その後、自己肯定感が高くなる傾向にあるという調査結果があります。ここで気を付けるべきは、それならばと、あれもこれも何でも体験させればよいというものではないということです。大切なのは、その質です。質の良い体験として押さえるべきは、子供が夢中になることと、ゆとりがあることです。唐子小の子供たちの休み時間の様子を見ると、ドッジボールをする子、オシロイバナの種を採る子、絵をかく子、・・・ 誰に強いられるでなく、思い思いの過ごし方を「夢中に」楽しんでいます。

保護者や教師といった大人は、自身の経験則や時代の流れから、子供のために思い様々な体験をさせようと考えます。それは大いに意義があり、尊いことです。その際、大人の思いや願いを内に秘めつつ、目の前の子供が何に目を輝かせ、何に夢中になっているかを大切に、環境を整えることが肝要です。そして可能であれば、それを大人も一緒にやってみることで、そうすることで、子供への理解が深まり、喜びを共感し、子供との会話も弾んでいくことでしょう。

もし私の子供の頃にハロウィーンが身近にあったら。ファッションセンス抜群な大人になっていた可能性があります。